

2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は調理食品の値上がりなどにより7.8%上昇、住居は家賃の値上がりにより0.1%上昇、家具・家事用品は家事用消耗品の値上がりなどにより9.0%上昇、被服及び履物は衣料の値上がりなどにより4.2%上昇、保健医療は保健医療用品・器具の値上がりなどにより3.1%上昇、交通・通信は通信の値上がりなどにより2.3%上昇、教育は補習教育の値上がりなどにより0.9%上昇、教養娯楽は教養娯楽サービスの値上がりなどにより3.2%上昇、諸雑費は理美容サービスの値上がりなどにより1.3%上昇した。

一方、光熱・水道は電気代の値下がりなどにより9.1%下落した。

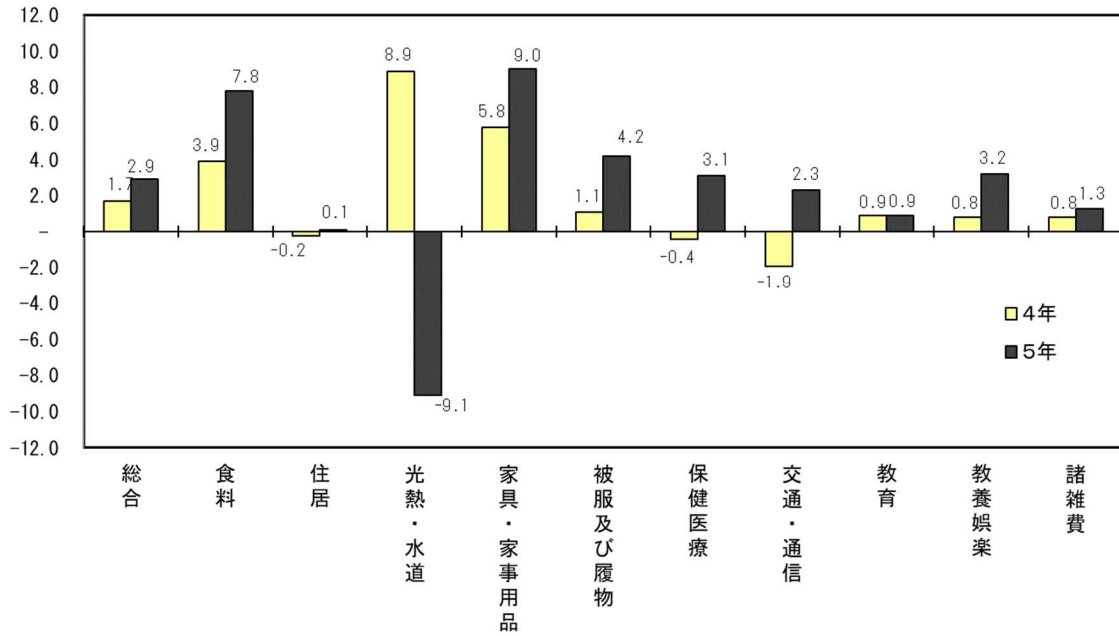
10大費目指数	令和2年=100			
	前年比(%)		寄与度	
	4年	5年	4年	5年
総合	1.7	2.9		
食料	3.9	7.8	1.02	2.07
住居	-0.2	0.1	-0.04	0.03
光熱・水道	8.9	-9.1	0.61	-0.67
家具・家事用品	5.8	9.0	0.25	0.40
被服及び履物	1.1	4.2	0.04	0.14
保健医療	-0.4	3.1	-0.02	0.15
交通・通信	-1.9	2.3	-0.28	0.33
教育	0.9	0.9	0.02	0.02
教養娯楽	0.8	3.2	0.08	0.30
諸雑費	0.8	1.3	0.06	0.09

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度寄与したかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

